

## 報道取材情報(駿東伊豆消防本部)

平成 31 年3月 26 日(火)発表

**名 称 等 「日本語パートナーズ」派遣職員がインドネシアから帰国しました！****担 当 消防部 総務課****直通 055-920-9100****1 内 容**

平成 30 年8月 17 日～平成 31 年3月 14 日の7か月間、国際交流基金アジアセンターが実施している事業「日本語パートナーズ」としてインドネシア西ジャワ州ボゴール県に、自己啓発等休業制度を利用して派遣されていた職員が帰国しましたので、取材方お願い申し上げます。

インドネシアでは、日本語教育支援、文化交流、相互理解のための活動をしてきました。

**2 派遣職員**

消防部 総務課 企画財務係 主査

佐野 由生子

**3 日本語パートナーズについて**

経済成長著しい ASEAN 諸国では、日本の文化や科学技術などについての関心が高く、近年のポップカルチャーに対する人気も相乗効果となり、日本語を学びたいと考える若い人たちが急激に増えています。現地では日本語教育が盛んに行われており、中学、高校の授業に取り入れている国も多いのですが、その反面、日本語の先生の数と経験の不足が課題となっています。そのため日本政府は、独立行政法人国際交流基金を通じて、現地の日本語の先生をサポートしながら、「生きた日本語」を教えられる人材を派遣する事業を、2014 年より開始しました。その人材が「日本語パートナーズ」です。

**4 外国人への消防対応について(派遣職員の感想)**

第 18 回アジア競技大会をインドネシア滞在中に観戦し、運営・ボランティアスタッフ、警備・警察・消防の対応を外国人として肌で感じました。

この経験は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック自転車競技大会が駿東伊豆消防本部管内の伊豆市で開催されるにあたり、消防活動における外国人対応に関して活かせるものと考えています。もちろん、外国語が話せることに越したことはありませんが、ボディランゲージも含めやさしい日本語を使うことも、少し日本語が理解できる外国人にとっては意思疎通に役に立つことを職員間で共有していきたいです。

## 5 沼津市のPRについて

インドネシアは無類の親日国であり、日本製の自動車やバイク、家電製品はもちろん、若い世代ではアニメも大人気です。今回、派遣にあたり、沼津市が舞台となった「ラブライブ！サンシャイン！！」の話をしたところ、アニメのファンもおり、日本の静岡県沼津市をリアルにPRすることができました。

## 6 その他

他の機関において帰国報告会を行います。

帰国報告会 ※国際交流基金アジアセンター主催

日時:平成 31 年 4 月 17 日(水) 14:00-17:00 (予定)

場所:国際交流基金 本部オフィス(住所:東京都新宿区四谷 4-4-1)

参加者:日本語パートナーズインドネシア9期及び基金関係者

静岡県推薦者の帰国報告

日時:平成 31 年 4 月 26 日(金) 11:30-12:00 (予定)

場所:静岡県庁別館 9 階第 1 特別会議室

参加者:川勝静岡県知事及び幹部職員

平成 31 静岡県推薦枠派遣予定者 7 名

平成 30 静岡県推薦枠派遣帰国者 9 名

